

若年性認知症支援モデル事業を踏まえた論点

若年性認知症支援におけるこれまでの取組と考え方

【都の取組】
 平成20年8月 東京都若年性認知症生活実態調査(報告)
 平成20年度～21年度 若年性認知症支援部会(専門部会)
 平成21年度～23年度 若年性認知症支援モデル事業
 平成22年12月 若年性認知症ハンドブック(発行)
 平成24年5月 東京都若年性認知症総合支援センター開設

【都の基本的な考え方】
 相談・家族支援、医療支援、介護支援
 職場を含む社会的支援、経済的支援
 など、若年性認知症の人とその家族
 の生活全般を支援することが重要

【介護支援に対する考え方】
 ・介護支援→若年性認知症の人の円滑な受入れと提供されるサービスの質の向上を図ることが必要。
 ・社会的支援→退職後から介護保険サービスの利用を開始するまでの期間(空白期間)の居場所として、介護保険サービス等により社会参加活動を行う場が提供されるべき。



若年性認知症支援モデル事業の概要〔若年性認知症専用デイサービス〕

1 実施場所等

実施場所	なぎさ楽苑(特養)6階 専用スペース
実施日	月曜日～金曜日(週5日)
実施時間	9:30a.m.～4:30p.m.
利用定員	実施日1日あたり8名まで
サービス提供地域	東京都全域 (送迎は葛西地域のみ)
利用料金	無料 (昼食代、活動実費のみ徴収)

2 活動内容

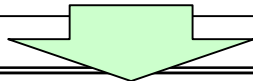
- (1) 就労型支援活動
 ⇒ 宛名書き、清掃、手作り作品制作、屋食の提供、洗車等
- (2) アクティビティ支援活動
 ⇒ 体操、手芸、花壇の管理、散歩、ショッピング体験、TV鑑賞等

3 対象者の概要

No	年齢	認定	認知症自立度	疾患
1	50歳代	支1	I	脳血管
2	50歳代	介3	Ⅲa	アルツハイマー
3	60歳代	介2	Ⅱb	脳血管
4	60歳代	介4	Ⅳ	脳血管
5	60歳代	介2	Ⅱb	アルツハイマー
6	60歳代	介3	Ⅱb	脳血管
7	60歳代	介2	Ⅱb	アルツハイマー
8	60歳代	介2	Ⅱb	前頭側頭型
9	60歳代	介1	Ⅱa	アルツハイマー
10	50歳代	介1	Ⅱa	アルツハイマー

4 モデル事業から見てきたこと

- ・デイサービスは、若年性認知症の人の居場所を確保するという意味から、本人・家族の期待に応えるものであり、必要である。
- ・デイサービスの利用については、あらかじめ認知症が進行した場合の対応方法を決めておかないと、適切なサービスの提供が困難になる。



＜新たな若年性認知症支援策(若年性認知症専用デイサービス)検討のための論点＞

1 若年性認知症の人の空白期間を埋める専用デイサービスの制度化

2 対象とする利用者像の明示と地域のデイサービス等への移行

3 若年性認知症ケアのノウハウ蓄積とその普及

4 若年性認知症の特性に応じた職員の配置とボランティアの活用

